

# 「ITスキル標準」対応スキル診断ツールガイドライン 対応状況

平成 16 年 11 月

特定非営利活動法人  
ITSSユーザー協会





All Rights Reserved Copyright © 特定非営利活動法人 ITSSユーザー協会 2004

全ての著作権は、特定非営利活動法人 ITSSユーザー協会に帰属します。特に規定のない限り、ITSSユーザー協会の事前の書面による許可なく、この出版物のいかなる部分も、いかなる形式、いかなる方法によっても、無断複製・転載を禁じます。

特定非営利活動法人 ITSSユーザー協会  
東京都千代田区平河町 1-7-20 平河町ビル 9階  
Web : <http://www.itssug.org/>

## 目 次

1 . 本資料の目的 .....	- 1 -
2 . 賛同企業紹介 .....	- 1 -
3 . ガイドライン対応状況.....	- 1 -
( 1 ) 株式会社 ザ・ネット.....	- 2 -
( 2 ) 株式会社 システム・テクノロジー・アイ .....	- 3 -
( 3 ) 株式会社 ネクストエデュケーションシンク .....	- 4 -
( 4 ) 株式会社 富士通ラーニングメディア .....	- 5 -



### 1. 本資料の目的

本資料は、「ITスキル標準」対応スキル診断ツールガイドラインに賛同し、ガイドラインに準拠した診断ツールの対応状況を紹介してあります。

### 2. 賛同企業紹介

ガイドラインに対応したスキル診断ツール提供会社を紹介します。(順不同)

株式会社 ザ・ネット

スキル診断ツール：ITSS - DS

URL：<http://www.za-net.co.jp/>

株式会社 システム・テクノロジー・アイ

スキル診断ツール：iStudy Skills for ITSS

URL：<http://www.systech-i.co.jp/>

株式会社 ネクストエデュケーションシンク

スキル診断ツール：ITSS レベルチェッカー / ITSS レベルパネル

URL：<http://www.nextet.net/>

株式会社 富士通ラーニングメディア

スキル診断ツール：SkillCompass(R)/ITpro

URL：<http://www.flm.fujitsu.com/>

### 3. ガイドライン対応状況

ガイドライン賛同企業の対応状況を紹介します。ここでは、「ガイドライン項目/内容」は抜粋した内容を記述してありますので、各項目の詳細な内容は、ガイドライン本文を参照して下さい。また、表中の区分には下記のものがあります。

必須

強く推奨(近い将来に必須となるもの)

推奨

(1) 株式会社 ザ・ネット

No	大分類	中分類	ガイドライン項目/内容	区分	対応状況	コメント
1	診断方法	診断の範囲	「達成度指標」と「スキル熟達度・知識項目」の両方について診断が行えること		対応済	
2			専門スキルとパーソナルスキル(リーダーシップなど)の両方の診断に対応していること		対応済	
3			ITSSスキル診断ツールは、4職種以上のスキル診断に対応していること		対応済	11職種 38専門分野(全職種)に対応
4			ITスキル標準のスキル項目の全てに対応していること		対応済	
5			専門分野別のスキル診断を提供すること		対応済	
6			次の職種については、専門分野別でスキル診断を提供すること		対応済	
7		診断の方法	診断は次の通りのいずれかの方法であること		対応済	
8			スキル診断結果に対する承認ができること		対応済	
9			スキル診断は1職種/専門分野あたり30分~1時間程度で行えること		対応済	
10			目標とするレベルが入力可能であること		対応済	
11	診断結果	レベル判定	「スキル熟達度・知識」と「達成度指標」のレベルが判定できること		対応済	
12			診断結果のレベルは小数点1桁まで表現すること		対応済	
13			診断の結果レベルは1未満の表示をすること		対応済	
14		スキルの比較	スキル診断の履歴管理を行え、過去のスキル診断結果との比較ができること		対応済	
15		モデル人材との比較	モデル人材との診断結果の比較ができること		対応済	
16		診断結果レポート	診断者単位でのスキル診断レポートを提供すること		対応済	
17			診断結果には、診断者のスキルアップのための指針が含まれていること		対応済	
18			組織単位でのスキル診断レポートを提供すること		対応済	
19			ITスキル標準のスキル項目別にスキル熟達度レベルを表示すること		対応済	
20			「スキル熟達度・知識」は経験と知識に分けて表示すること		対応済	
21		診断結果を取り出すことができること		対応済		
22	統計情報	診断結果の平均値とサンプル数を定期的に公開すること		対応済		
23		スキル診断結果のレベル分布情報を提供すること		対応済		
24	その他	スキル診断サービス提供元	提供元は、Pマークなどを取得した個人情報保護の体制が整備された法人であること		対応済	Pマークを申請済み(承認待ち)
25			スキル診断の基本コンセプトを開示していること		対応済	
26			対応するITスキル標準のバージョンを表記していること		対応済	
27			ITスキル標準のバージョンの変更に伴ってスキル診断の改良を随時行うこと		対応済	

(2) 株式会社 システム・テクノロジー・アイ

No	大分類	中分類	ガイドライン項目/内容	区分	対応状況	コメント
1	診断方法	診断の範囲	「達成度指標」と「スキル熟達度・知識項目」の両方について診断が行えること		対応済	
2			専門スキルとパーソナルスキル(リーダーシップなど)の両方の診断に対応していること		対応済	
3			ITSSスキル診断ツールは、4職種以上のスキル診断に対応していること		対応済	
4			ITスキル標準のスキル項目の全てに対応していること		対応済	
5			専門分野別のスキル診断を提供すること		対応済	
6			次の職種については、専門分野別でスキル診断を提供すること		対応済	
7		診断の方法	診断は次の通りのいずれかの方法であること		対応済	
8			スキル診断結果に対する承認ができること		対応済	
9			スキル診断は1職種/専門分野あたり30分~1時間程度で行えること		対応済	
10			目標とするレベルが入力可能であること		対応済	
11	診断結果	レベル判定	「スキル熟達度・知識」と「達成度指標」のレベルが判定できること		対応済	
12			診断結果のレベルは小数点1桁まで表現すること		対応済	
13			診断の結果レベルは1未満の表示をすること		対応済	
14		スキルの比較	スキル診断の履歴管理を行え、過去のスキル診断結果との比較ができること		対応済	
15		モデル人材との比較	モデル人材との診断結果の比較ができること		対応済	
16		診断結果レポート	診断者単位でのスキル診断レポートを提供すること		対応済	
17			診断結果には、診断者のスキルアップのための指針が含まれていること		対応済	
18			組織単位でのスキル診断レポートを提供すること		対応済	
19			ITスキル標準のスキル項目別にスキル熟達度レベルを表示すること		対応済	
20			「スキル熟達度・知識」は経験と知識に分けて表示すること		対応済	
21		診断結果を取り出すことができること		対応済		
22	統計情報		診断結果の平均値とサンプル数を定期的に公開すること		対応済	
23			スキル診断結果のレベル分布情報を提供すること		対応済	
24	その他	スキル診断サービス提供元	提供元は、Pマークなどを取得した個人情報保護の体制が整備された法人であること		対応済	Pマークを申請済み(承認待ち)
25			スキル診断の基本コンセプトを開示していること		対応済	
26			対応するITスキル標準のバージョンを表記していること		対応済	
27			ITスキル標準のバージョンの変更に伴ってスキル診断の改良を随時行うこと		対応済	

( 3 ) 株式会社 ネクストエデュケーションシンク

No	大分類	中分類	ガイドライン項目/内容	区分	対応状況	コメント
1	診断方法	診断の範囲	「達成度指標」と「スキル熟達度・知識項目」の両方について診断が行えること		対応済	「ITSS レベルチェッカー」全シリーズで対応
2			専門スキルとパーソナルスキル(リーダーシップなど)の両方の診断に対応していること		対応済	(以下同)
3			ITSS スキル診断ツールは、4 職種以上のスキル診断に対応していること		対応済	
4			IT スキル標準のスキル項目の全てに対応していること		対応済	
5			専門分野別のスキル診断を提供すること		対応済	
6			次の職種については、専門分野別でスキル診断を提供すること		対応済	
7		診断の方法	診断は次の通りのいずれかの方法であること		対応済	
8			スキル診断結果に対する承認ができること		対応済	
9			スキル診断は1職種/専門分野あたり30分~1時間程度で行えること		対応済	
10			目標とするレベルが入力可能であること		対応済	
11	診断結果	レベル判定	「スキル熟達度・知識」と「達成度指標」のレベルが判定できること		対応済	
12			診断結果のレベルは小数点1桁まで表現すること		対応済	
13			診断の結果レベルは1未満の表示をすること		対応済	
14		スキルの比較	スキル診断の履歴管理を行え、過去のスキル診断結果との比較ができること		対応済	
15		モデル人材との比較	モデル人材との診断結果の比較ができること		対応済	
16		診断結果レポート	診断者単位でのスキル診断レポートを提供すること		対応済	
17			診断結果には、診断者のスキルアップのための指針が含まれていること		対応済	
18			組織単位でのスキル診断レポートを提供すること		対応済	
19			IT スキル標準のスキル項目別にスキル熟達度レベルを表示すること		対応済	
20			「スキル熟達度・知識」は経験と知識に分けて表示すること		対応済	
21		診断結果を取り出すことができること		対応済		
22	統計情報	診断結果の平均値とサンプル数を定期的に公開すること		対応済		
23		スキル診断結果のレベル分布情報を提供すること		対応済		
24	その他	スキル診断サービス提供元	提供元は、Pマークなどを取得した個人情報保護の体制が整備された法人であること		対応済	Pマーク申請済(認定フラインク・コンサルタント資格取得済)
25			スキル診断の基本コンセプトを開示していること		対応済	
26			対応するITスキル標準のバージョンを表記していること		対応済	
27			ITスキル標準のバージョンの変更に際してスキル診断の改良を随時行うこと		対応済	

(4) 株式会社 富士通ラーニングメディア

No	大分類	中分類	ガイドライン項目/内容	区分	対応状況	コメント
1	診断方法	診断の範囲	「達成度指標」と「スキル熟達度・知識項目」の両方について診断が行えること		対応済	
2			専門スキルとパーソナルスキル(リーダーシップなど)の両方の診断に対応していること		対応済	
3			ITSSスキル診断ツールは、4職種以上のスキル診断に対応していること		対応済	
4			ITスキル標準のスキル項目の全てに対応していること		対応済	
5			専門分野別のスキル診断を提供すること		対応済	
6			次の職種については、専門分野別でスキル診断を提供すること		対応済	
7		診断の方法	診断は次の通りのいずれかの方法であること		対応済	
8			スキル診断結果に対する承認ができること		対応済	
9			スキル診断は1職種/専門分野あたり30分~1時間程度で行えること		対応済	
10			目標とするレベルが入力可能であること		対応済	
11	診断結果	レベル判定	「スキル熟達度・知識」と「達成度指標」のレベルが判定できること		対応済	
12			診断結果のレベルは小数点1桁まで表現すること		対応済	
13			診断の結果レベルは1未満の表示をすること		対応済	
14		スキルの比較	スキル診断の履歴管理を行え、過去のスキル診断結果との比較ができること		対応済	
15		モデル人材との比較	モデル人材との診断結果の比較ができること		対応済	
16		診断結果レポート	診断者単位でのスキル診断レポートを提供すること		対応済	
17			診断結果には、診断者のスキルアップのための指針が含まれていること		対応済	
18			組織単位でのスキル診断レポートを提供すること		対応済	
19			ITスキル標準のスキル項目別にスキル熟達度レベルを表示すること		対応済	
20			「スキル熟達度・知識」は経験と知識に分けて表示すること		対応済	
21		診断結果を取り出すことができること		対応済		
22	統計情報		診断結果の平均値とサンプル数を定期的に公開すること		対応済	
23			スキル診断結果のレベル分布情報を提供すること		対応済	
24	その他	スキル診断サービス提供元	提供元は、Pマークなどを取得した個人情報保護の体制が整備された法人であること		対応済	
25			スキル診断の基本コンセプトを開示していること		対応済	
26			対応するITスキル標準のバージョンを表記していること		対応済	
27			ITスキル標準のバージョンの変更に伴ってスキル診断の改良を随時行うこと		対応済	